

SPring-8-IIに関する要望

大型放射光施設 SPring-8 は、平成9年の共用開始以来、科学技術の発展と産業振興に資する多くの研究成果を挙げ、社会的・科学的課題の解決に貢献してきました。

しかしながら、この間、経済安全保障や脱炭素・循環型社会の重要性の増大、生成AIの登場など、社会経済の在り方が大きく変容する中、各国で大型放射光施設の高度化や新設が進み、共用開始から25年以上が経過し老朽化が進む SPring-8 の優位性の低下が懸念されています。

昨年8月の「SPring-8の高度化に関するタスクフォース」報告においても、デジタル社会を支える次世代半導体の量産やGX社会の実現など我が国や世界の産業・社会の大きな転機を見据え、SPring-8のアップグレードは必須であるとされ、多くの研究機関・大学・企業等からの、SPring-8の高度化に対する期待が日に日に高まっています。

また、SPring-8の立地により、播磨科学公園都市には光科学分野の研究機関や大学、企業をはじめ、有能な研究者・技術者が多数集積しており、これらは、まちを支える大きな強み・魅力として、少子高齢化が進む地域の活性化にも大きく貢献するとともに、播磨臨海地域でのカーボンニュートラルポート形成などによる水素社会実現に向けた取組にも寄与するものと期待されています。

つきましては、今後も世界最高水準の大型放射光施設として、我が国のイノベーションと今後益々必要とされる理工系人材の育成や新産業の創出に貢献するとともに、さらなる地域の活性化につなげるため、下記のことについて要望します。

記

新材料開発など放射光を活用した国際的な研究開発での優位性を保つため、国家プロジェクトとして国において整備費を確保し「SPring-8-II」に向けた抜本的な高度化を着実に推進すること

令和6年4月

兵庫県知事	齋藤 元彦
西播磨市町長会会長	清元 秀泰
公益社団法人関西経済連合会会長	松本 正義
兵庫県商工会議所連合会会頭	川崎 博也
兵庫県商工会連合会会長	小寺 博史
公益社団法人兵庫工業会会長	宮脇 新也